

スポーツタウン

事例日ハムの特徴

1, 官民共同の事業である

民 事業出資

官 都市計画

インフラ整備

2, パートナーシップ型事業

野球場 日ハム

ホテル 商業施設

レジデンス

別事業者

3, コンセプトがしっかりしている

・ SDGS の 3 本柱 教育

まちづくり

パートナーシップ

・ ○○×○○ 方式

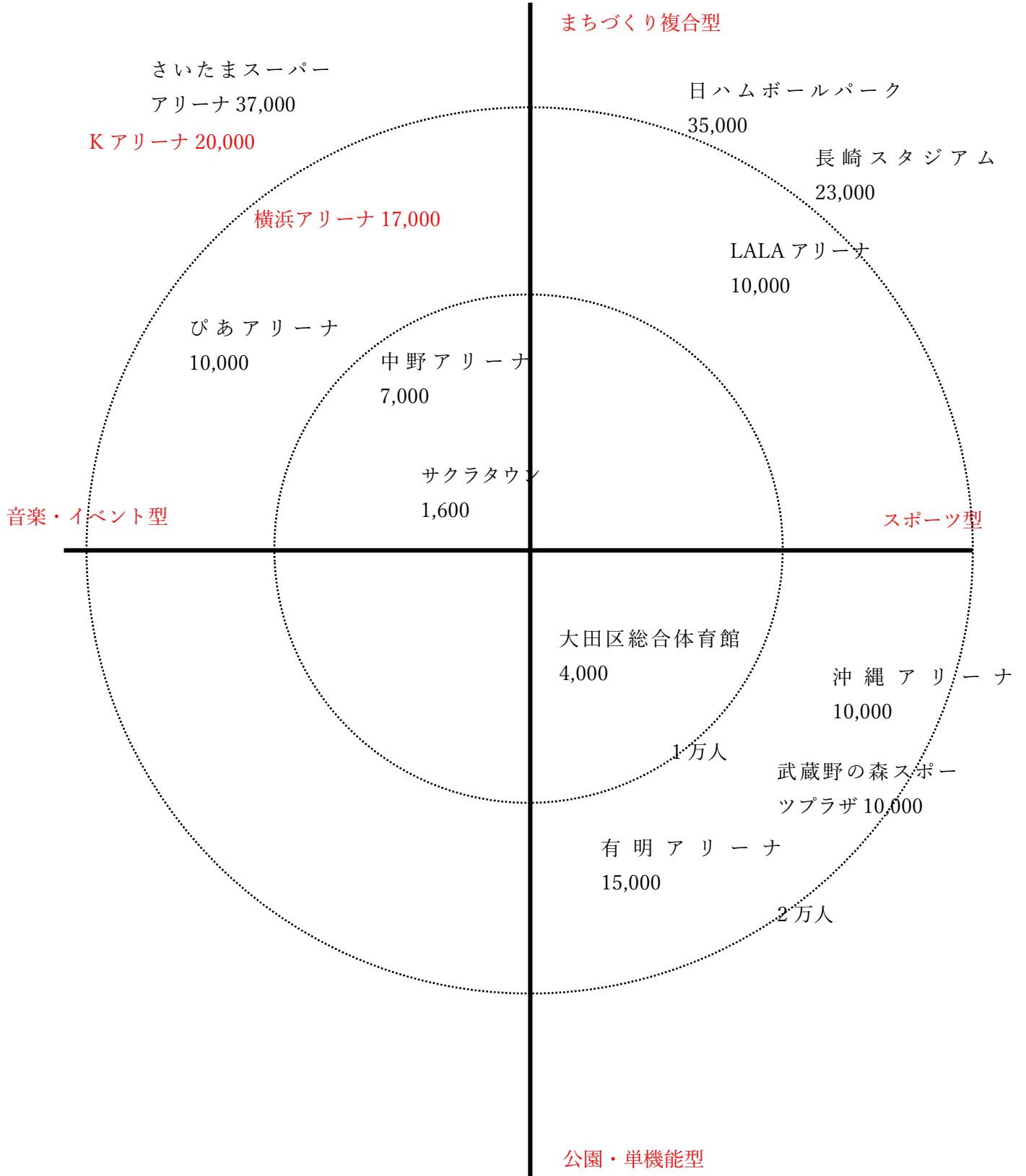
4, 複合型開発である

野球だけではなく食 自然 子供などを組みあわせている

5, グローバルな視野

北海道

アリーナ分類



スタジアム・アリーナ改革

ガイドブック H29 スポーツ庁 経済産業省

政府が掲げる成長戦略である日本再興戦略 2016 の官民戦略プロジェクト 10 に、スポーツの成長産業化が位置づけられた。

未来投資戦略 2017（平成 29 年 6 月 9 日閣議決定）において、2025 年までに 20 か所のスタジアム・アリーナの実現を目指すことが具体的な目標として掲げられ・

スポーツ庁と経済産業省は、平成 28 年 2 月にスポーツ未来開拓会議を開始し、2020 年以降も展望したスポーツ産業の戦略的な取組を検討

平成 28 年 7 月には、国土交通省、観光庁の協力を得て、プロスポーツリーグ関係者、自治体関係者等による「スタジアム・アリーナ推進 官民連携協会」（以下「協議会」）を立ち上げ

本ガイドブックは、これまでに示してきた、スタジアム・アリーナ改革指針（平成 28 年 11 月 16 日公表）、スタジアム・アリーナ整備に係る資金調達手法・民間資金活用プロセスガイド（平成 29 年 5 月 31 日公表）に加えて、国内外のスタジアム・アリーナ事例、スタジアム・アリーナに関する技術事例をまとめて提示している。